

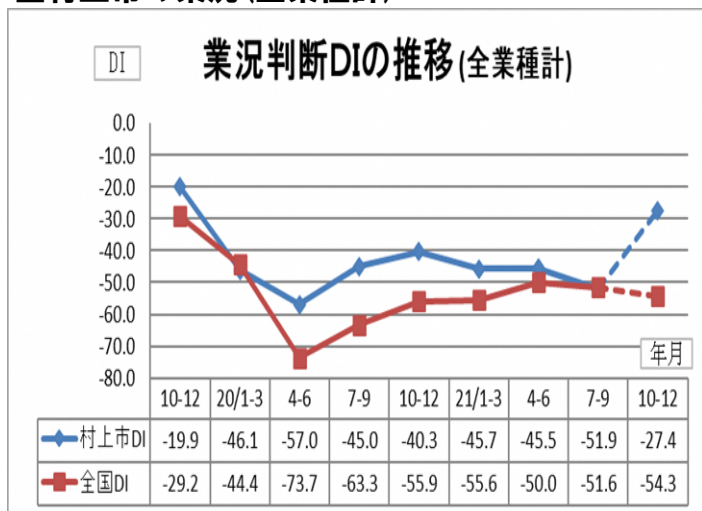


村上市 景況調査報告

〈令和3年7-9月期の実績・令和3年10-12月期の見通し〉

『新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況』

■村上市の業況(全業種計)

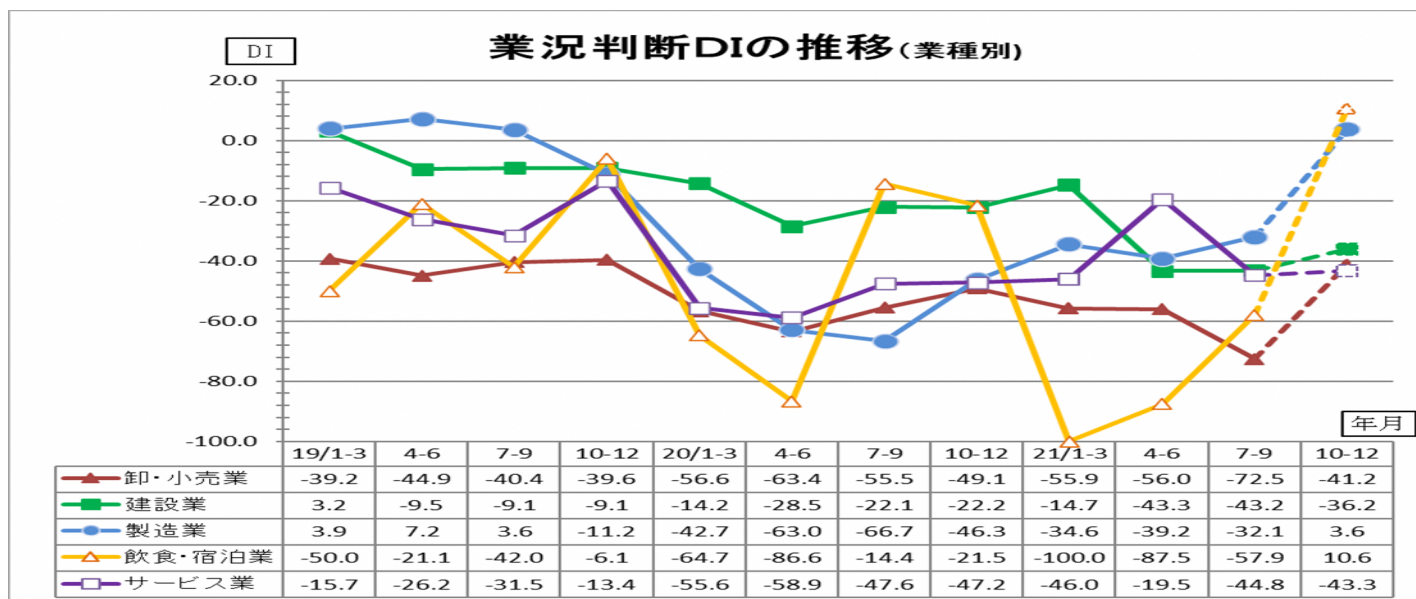


今期(7-9月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(4-6月期)と比べ6.4ポイント低下し▲51.9となった。前期における今期予測(▲25.9)より26.0ポイント低下し前年同月比では6.9ポイント低下した。全国DIは1.6ポイント低下し▲51.6となった。

来期(10-12月期)については、24.5ポイント上昇し▲27.4となる見通し。全国DIは2.7ポイント低下し▲54.3となる見通し。

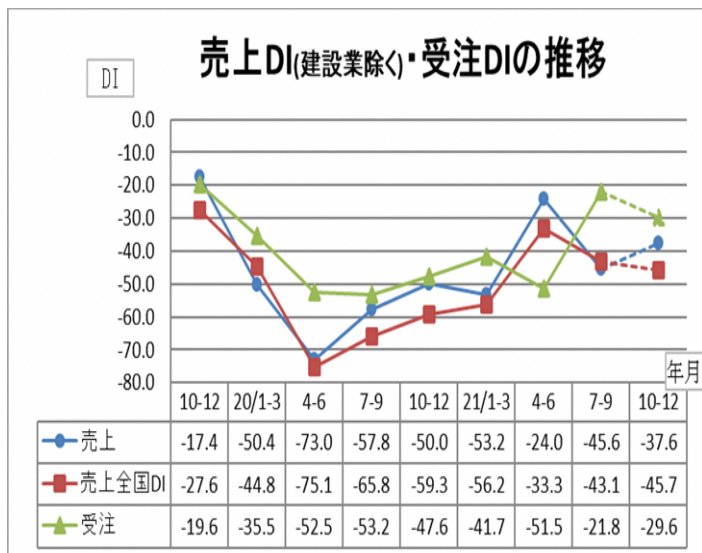
全ての業種で、売上(受注)減少というコメントが多いことから全体的に厳しさが伺える。

今後の見通しとしては、もう暫く厳しさが続くともみている方が多く、更なるGoTo事業の実施を望む声が多い。製造業、飲食・宿泊業では、大幅に上昇する見込みである。



■各業種の動向

卸・小売業	観光客や帰省者の減少、イベントの縮小、県の警報発令、飲食店の時短営業や休業、取引先のキャンセル増、などの要因により売上が減少したというコメントが多い。 見通しとしては、GoTo事業、ギフト、通販、ネット販売、ふるさと納税の返礼品などへの期待感から、DI値は大きく上昇する見込みであるが、仕入品の不足・値上げ・納期の遅延、ガソリンの高騰などを心配している声もある。	飲食・宿泊業	売上不振というコメントは相変わらず多いが、宿泊業では県民制や村上市民制による効果があったという事業者や粟島の光回線工事業者の長期で大口の予約があったというコメントもある。 見通しとしては、市の商品券効果で客数は増加するとみているが、会社などでの大人数の宴会が復活しないと収益は生み出せない。Go To トラベルに期待する。	
建設業	コロナ禍に入り、設備投資が減少している。公共工事も激減。ウッドショック・半導体不足により資材の高騰や製品の入荷が遅れ、工事着工が予定通りに進まない。 見通しとしては、DIグラフも横ばいだが、コメントも現状と変わらず良好なコメントはほぼ見受けられない。	サービス業	運送業では前期より売上が減少していることに加え、燃料費の高騰で厳しい状況が続いている。クリーニング業では旅館や飲食店との取引が低迷。理美容業では外出自粛慣れで客足鈍化。反面、デイサービスでは利用者が増加傾向。 見通しとしては、コロナ感染者数の減少により多少は緩和していくというコメントがあり、DIグラフを見ても大幅に改善する見込みで、大きく右肩あがりになっている。	
製造業	航空機部品製造業では引き続き厳しい状況が続いている。製材業ではウッドショックにより仕入等への影響が目立つ。 見通しとしては、厳しい中でも受注が増加傾向にあるというコメントが多くなってきている。			

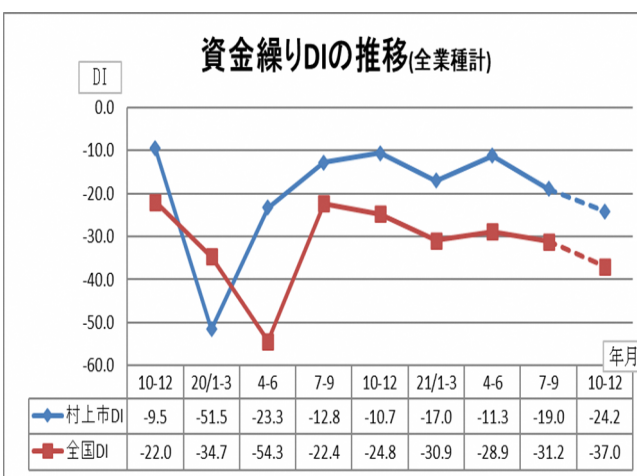
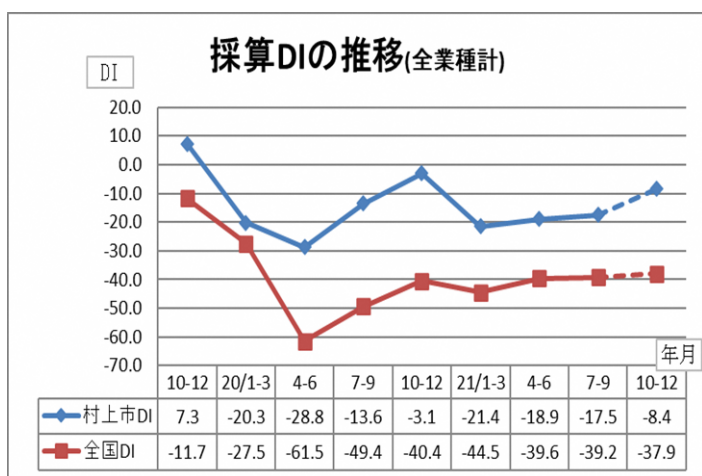


今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、21.6ポイント低下し▲45.6となった。前期における今期予測(▲22.6)より23.0ポイント低下し前年同月比では12.2ポイント上昇した。全国DIは9.8ポイント低下し▲43.1となった。来期については、8.0ポイント上昇し▲37.6となる見通し。全国DIは2.6ポイント低下し▲45.7となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、29.7ポイント上昇し▲21.8となった。前期における今期予測(▲29.6)より7.8ポイント上昇し前年同月比では31.4ポイント上昇した。来期については、7.8ポイント低下し▲29.6となる見通し。

【受注DIの内訳】

	前期	今期	来期
・建設業	▲59.5	▲35.1	▲45.9
・製造業	▲40.8	▲3.7	▲7.4

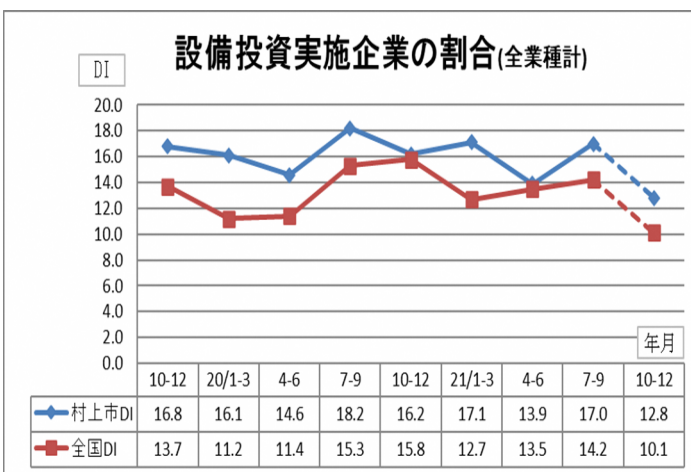
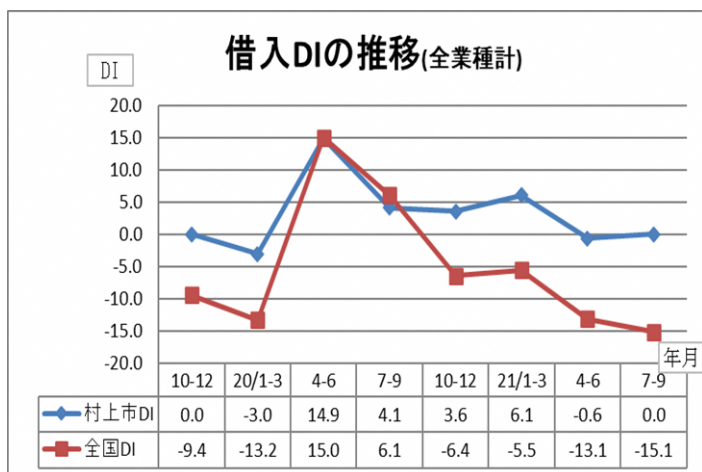


今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、1.4ポイント上昇し▲17.5となった。前期における今期予測(▲19.6)より2.1ポイント上昇し前年同月比では3.9ポイント低下した。全国DIは0.4ポイント上昇し▲39.2となった。

来期については、9.1ポイント上昇し▲8.4となる見通し。全国DIは1.3ポイント上昇し▲37.9となる見通し。

今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、7.7ポイント低下し▲19.0となった。前期における今期予測(▲16.2)より2.8ポイント低下し前年同月比では6.2ポイント低下した。全国DIは2.3ポイント低下し▲31.2となった。

来期については、5.2ポイント低下し▲24.2となる見通し。全国DIは5.8ポイント低下し▲37.0となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、0.6ポイント上昇し、±0となった。全国DIは2.0ポイント低下し▲15.1となった。

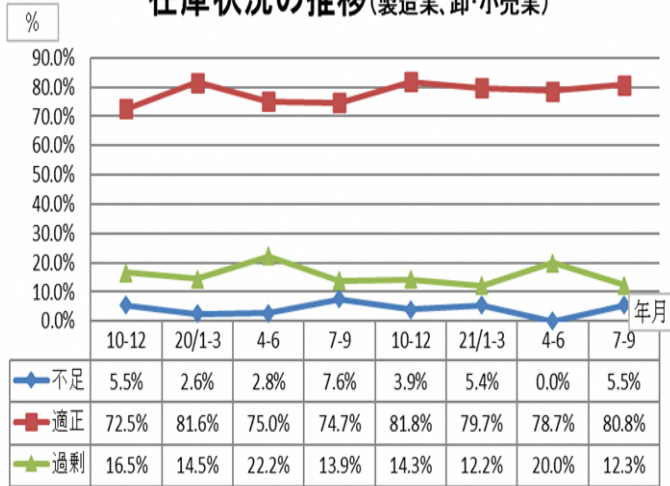
【借入DIの内訳】

	前期	今期
・容易になった	3.0%	→ 1.8%
・変わらない	32.5%	→ 38.1%
・難しくなった	3.6%	→ 1.8%

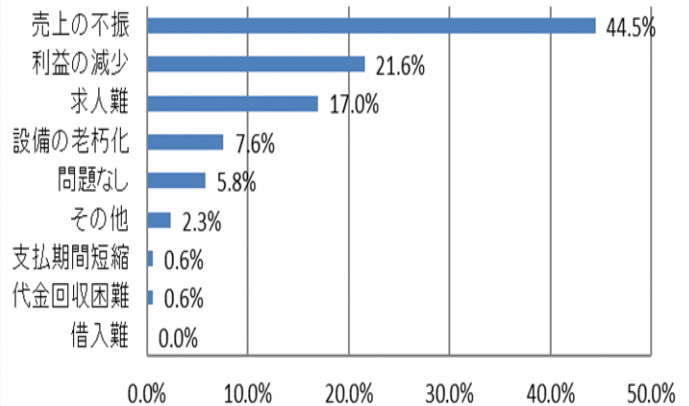
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、3.1ポイント上昇し17.0となった。前期における今期予測(13.4)より3.6ポイント上昇し前年同月比では1.2ポイント低下した。全国DIは0.7ポイント上昇し14.2となった。

来期については、4.2ポイント低下し12.8となる見通し。全国DIは4.1ポイント低下し10.1となる見通し。

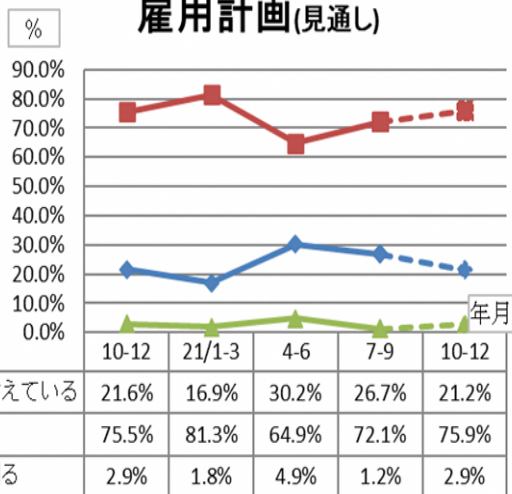
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



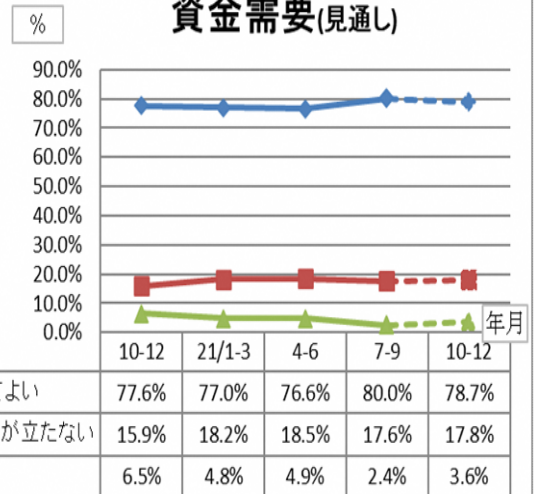
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



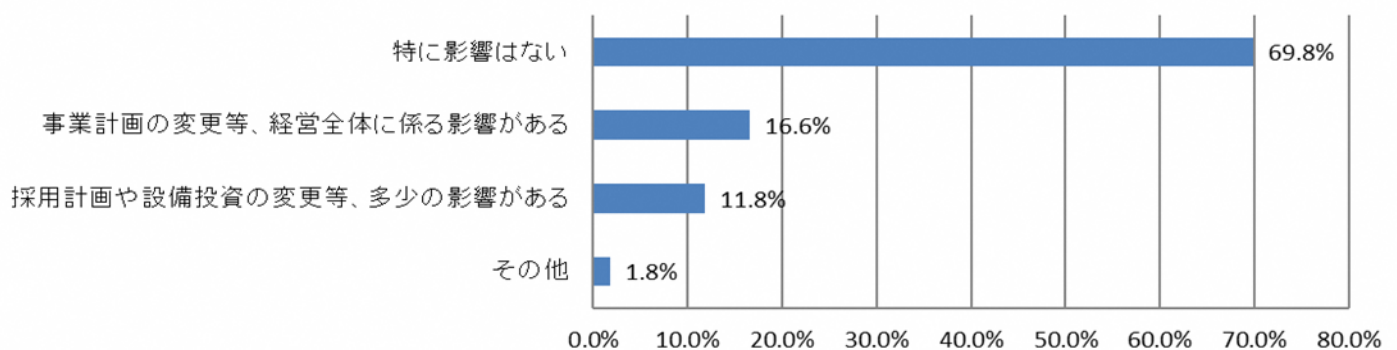
資金需要(見通し)



■地域別最低賃金額の改定について

地域別最低賃金が改定され、10月1日より新潟県の最低賃金が859円になります。この改定による影響について、お答えください。

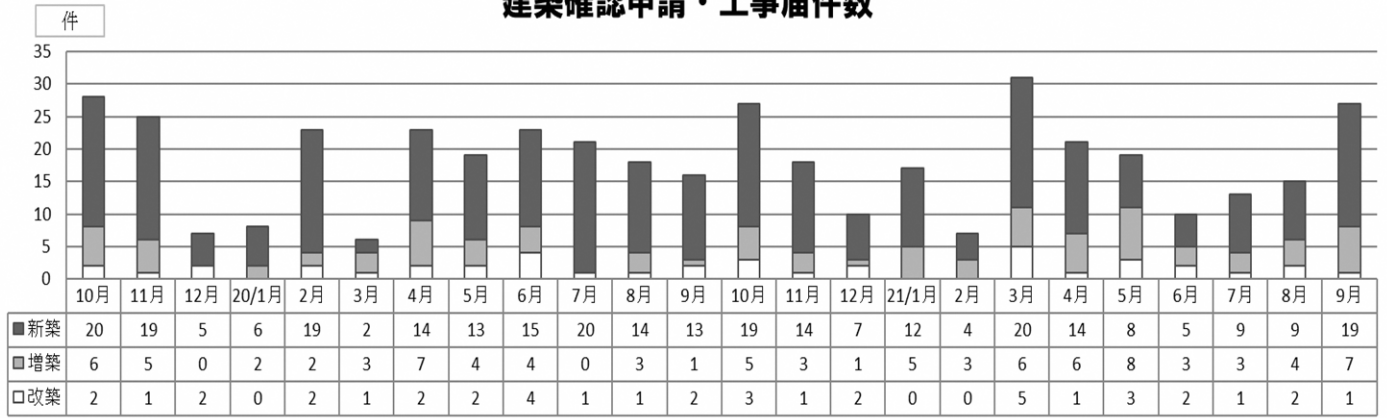
地域別最低賃金額の改定について



【その他】

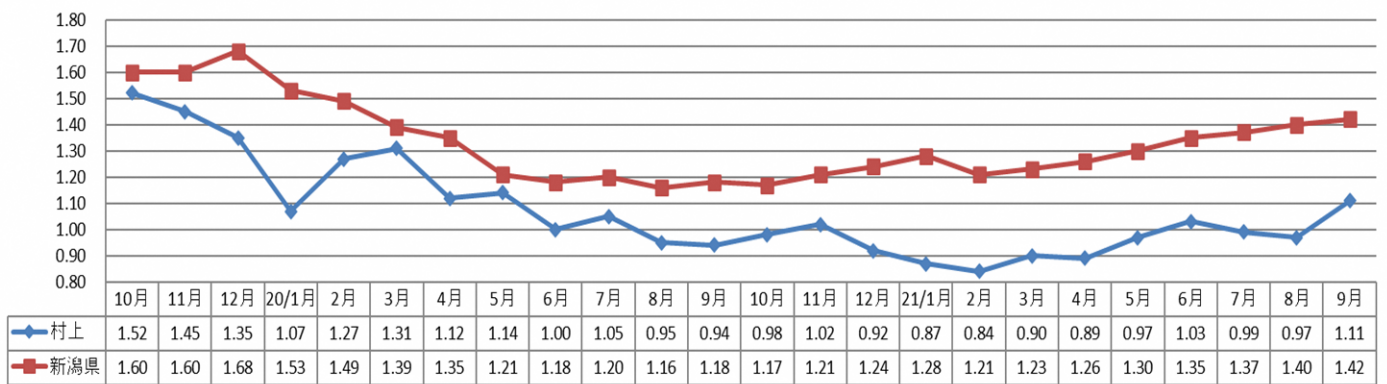
- ・一部の雇用者の賃金を上げた。

建築確認申請・工事届件数



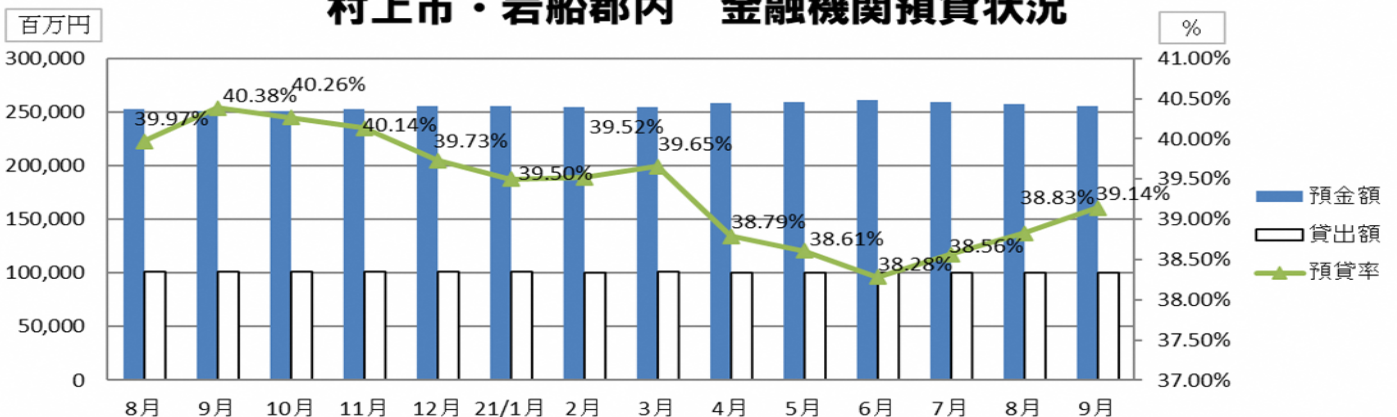
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2021年9月中旬～2021年10月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:173社(回収率86.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2021.7-9実績・2021.10-12見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)